

# T O B U



## 能登地方のゼフィルス

松井正人

石川県からは、17種のゼフィルスが記録されているが、押水町宝達山以北を能登地方、それより南部を加賀地方とするならば、能登地方からは6種が記録されている。能登地方の山地には、能登山地と石動・宝達山地があり、能登山地には宝立山（標高469m）、高洲山（567m）、桑塚山（408m）等の山々が、石動・宝達山地には、石動山（565m）、宝達山（637m）の山々がある。加賀地方には標高2000m以上の白山を最高峰とする加越山地があり、17種のゼフィルスが記録されているが、能登地方の最高峰は637mと低く、ゼフィルスの少ない原因となっている。

しかし、今回のリストには無いウラキンシジミが、輪島市の周辺や宝達山で確認されている（三上秀彦、私信）等、能登地方のゼフィルスについてはまだまだ情報不足、調査不足で、今後の調査により種数は倍位に増えると予想される。

以下に、これまで能登地方で記録されたゼフィルスの全記録を紹介する。データは、記録年月日、記録場所、記録内容、記録者（参考文献）の順とし、次に続くデータとは「:」で区分した。また、記録年月日のなかで、不明な箇所は「X」として現した。

### アカシジミ

1971-X-X, 輪島市町野, 3卵, 時国健太郎(9332):1996-6-15, 輪島市三井, 3頭目撃1頭採集, 天野勝広(9928):1996-6-30, 輪島市高洲山, 1頭, 天野勝広(9928):1974-6-20, 押水町東間~宝達山山頂, 目撃, 嵯峨井淳郎(9412):1974-7-20, 押水町宝達山, 1頭, 嵯峨井淳郎(9415).

### ミズイロオナガシジミ

1984-12-16, 輪島市宝立山, 9卵, 野中勝・他(9588):1996-7-6, 輪島市高洲山, 1♂, 天野勝広(9927):1989-1-22, 鹿島町基石ヶ峰, 1孵化殻, 松井正人(9696):1974-7-20, 押水町宝達山, 2♂, 嵯峨井淳郎(9415):1984-11-25, 押水町宝達山, 1卵, 松井正人・他(9573).

### アイノミドリシジミ

1984-11-25, 押水町宝達山山頂, 5卵, 松井正人・他(9573):1989-1-21, 押水町宝達山山頂, 1卵, 松井正人(9703).

### オオミドリシジミ

1954-6-27, 輪島市一本松公園, 1♂1♀, 日吉芳朗(9054):1976-7-6, 輪島市一本松公園, 1♂1♀, 天野勝広(9927):1951-7-18, 輪島市高洲山, 1♂, 浅見行一(9330):1954-6-26, 輪島市松陵中学校, 1♀, 日吉芳朗(9330):1996-7-14, 押水町宝達山山頂, 1♂, 松井正人.

## エゾミドリシジミ

1984-12-16, 輪島市宝立山, 64卵, 野中勝・他(9588):1997-10-18, 輪島市宝立山, 5卵, 松井正人・他:1996-7-7, 輪島市高洲山, 1♂, 天野勝広(9927):1984-11-25, 押水町宝達山, 13卵, 松井正人・他(9573):1989-1-21, 押水町宝達山山頂, 5卵, 松井正人:1990-8-25, 押水町宝達山山頂, 1♀, 松井正人(9711):1996-7-14, 押水町宝達山山頂, 1♂, 松井正人.

## ミドリシジミ

1992-3-15, 内浦町松波坪根, 30卵目撃, 松井正人:1984-12-16, 柳田村影田, 4卵, 野中勝・他(9588):1992-11-3, 穴水町越渡, 6卵目撃, 松井正人:1992-12-29, 中島町土川, 5卵目撃, 松井正人:1964-7-5, 鹿島町石動山, 2♂, 尾田良知(9781):1984-11-25, 鹿島町石動山, 7卵, 野中勝・他(9588):1993-6-9, 鹿島町石動山, 1幼目撃, 松井正人:1993-8-29, 鹿島町石動山, 1♀目撃, 松井正人:1994-5-28, 鹿島町石動山, 2幼目撃, 松井正人:1981-5-16, 鹿島町谷内, 6幼目撃, 松井正人・他(9509):1987-1-18, 富来町東小室, 16卵, 松井正人:1995-5-3, 志賀町田原, 2幼目撃, 松井正人:1975-5-11, 押水町東間, 4幼, 嵯峨井淳郎(9415):1965-7-X, 押水町宝達山, 砂山博(9337).

## 《参考文献》

- 9054 日吉芳朗(1969) 石川県旧輪島町周辺の蝶類について, 輪島高等学校紀要(3):53-59.  
 9330 日吉芳朗(1971) オオミドリシジミの思い出, とっくりばち(19・20):5.  
 9332 時国健太郎(1972) 蝶の新産地, とっくりばち(22・23):4.  
 9337 砂山 博(1975) 羽咋地方のチョウの目録, とっくりばち(30・31):1-3.  
 9412 嵯峨井淳郎(1979) 宝達山と周辺の蝶類について, 翔(4):3-5.  
 9415 吉村久貴(1979) Zephyrus 特集, 翔(5):1-28.  
 9509 松井正人・他(1982) 邑知潟地溝帯・南部におけるオオヒカゲの分布について, 翔(25):1-2.  
 9573 松井正人(1985) あわれなミズナラ君その後, 翔(50):18-19.  
 9588 松井正人(1985) 採卵記録票, 翔(51):10.  
 9696 松井正人(1991) 石川県に於けるゼフィルスの分布2, 翔(88):5-10.  
 9703 松井正人(1991) 石川県に於けるゼフィルスの分布4, 翔(91):3-8.  
 9711 松井正人(1991) 石川県に於けるゼフィルスの分布5, 翔(92):5-8.  
 9781 尾田良知(1964) 石動山地方の蝶. 4pp. (自刊).  
 9927 天野勝広(1997) 輪島のゼフィルス2種, アカハネムシ(22):2-3.  
 9928 天野勝広(1997) 輪島のアカシジミ, アカハネムシ(22):3-5.

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

## 輪島市三井の蛾類

富 沢 章

奥能登の蛾類の記録は少なく、まとまったものは山伏山と宝立山の採集記録（富沢、1976）があるに過ぎない。

松井正人氏は1997年7月20日、輪島市三井市の坂で甲虫調査を行った折り、灯火採集を実施し、その時得られた蛾類は筆者がいただいた。その同定結果は以下のとおりである。

## 1997年7月20日 輪島市三井市の坂 松井正人採集

ゴマフボクトウ	1頭	ハイイロキシタヤガ	2頭
シロシタホタルガ	1♂	オオカバスジヤガ	12頭
イラガ	4頭	カバスジヤガ	3頭
チビスカシノメイガ	4頭	オオシラホシアツバ	2♂
モンキノメイガ	1頭	アワヨトウ	1頭
フタスジツヅリガ	2頭	スジキリヨトウ	2頭
ネアオフトメイガ	1頭	オオウスヅマカラスヨトウ	1頭
モントガリバ	1頭	ヒメウスグロヨトウ	2頭
ホソバナミシャク	1頭	アオスジアオリング	2頭
フタテンオエダシャク	1頭	フタオビコヤガ	1頭
クルマスズメ	3頭	イネキンウワバ	1頭
モモスズメ	1頭	キクキンウワバ	1頭
クチバスズメ	2頭	ミツモンキンウワバ	1頭
ホソバシャチホコ	6頭	コガタキシタバ	1頭
ナカキシヤチホコ	1頭	ウスムラサキクチバ	3頭
ヒメシロモンドクガ	1♂	コウンモンクチバ	1頭
ハガタベニコケガ	2頭	アカテンクチバ	1頭
キハラゴマダラヒトリ	2頭	キンイロエグリバ	2頭
シロスジキノコヨトウ	1頭	マダラエグリバ	1頭
キシタミドリヤガ	5頭		

以上の39種得られたが、特筆すべき種はいない。おおむね加賀地方の低山地に生息する種ばかりであるが、輪島市は採集機会の少ない地域ゆえ、普通種といえどもその記録は重要である。そう言えば過日、奥能登の能登空港建設予定地における環境アセスの一環として行われた昆虫調査の約300種の蛾類目録をみる機会を得たが、これはおそらく公表されることなく終わるのであろう。誠に残念なことである。

最後に同定の機会を与えていただいた松井正人氏に感謝する。なお採集品は筆者が保管している。

富沢 章 (1976) 能登半島産蛾類の記録. とっくりばち (32・33) :1-10.

《とみさわ あきら 〒923 小松市大川町3丁目7 1》

## 1997年に輪島市で見かけた蝶

松 井 正 人

輪島市は、南北に12km、東西に36kmと東西に広がり、珠洲市、柳田村、能都町、穴水町、門前町と接している。奥能登の高峰、高洲山(こうしゅうざん)、鉢伏山、宝立山(ほうりゅうざん)は総て輪島市に有り、交通の便の良さも手伝って、奥能登にあっても良く調査されている。

1997年は6月～10月にかけて輪島市に5回訪れたので、その折に見かけた蝶について報告したい。1回目は6月29日に門前町境付近の上山、2回目は7月20日に能都町境付近の三井坂田と7月21日に珠洲市境の宝立山、3回目の8月30日と5回目の10月18日は珠洲市境の宝立山、4回目は9月20日に柳田村境付近の高洲山と鉢伏山へ行っている。調査ではないので見落としした蝶も多いが、輪島市で確認されている66種の蝶の中から29種を確認した。

報告に先立ち、種々御協力いただいた井村正行、西原昇吾の両氏にお礼申し上げる。

- |              |  |
|--------------|--|
| 1 イチモンジセセリ   | 三井坂田, 7月20日, 1頭目撃: 宝立山, 7月21日, 1頭目撃:<br>鉢伏山, 9月20日, 3頭目撃 |
| 2 ダイミョウセセリ   | 上山, 6月29日, 1頭目撃  |
| 3 ホソバセセリ     | 三井坂田, 7月20日, 2頭目撃: 宝立山, 7月21日, 1頭目撃                      |
| 4 ミヤマチャバネセセリ | 三井坂田, 7月20日, 1頭目撃: 鉢伏山, 9月20日, 1幼採集                      |
| 5 キアゲハ       | 宝立山, 8月30日, 1頭目撃: 鉢伏山, 9月20日, 1頭目撃:<br>高洲山, 9月20日, 1頭目撃  |
| 6 モンキアゲハ     | 宝立山, 8月30日, 1頭目撃   |
| 7 キチョウ       | 三井坂田, 7月20日, 1頭目撃  |
| 8 モンキチョウ     | 宝立山, 7月21日, 1♂目撃: 高洲山, 9月20日, 1♂1♀目撃                     |
| 9 モンシロチョウ    | 三井坂田, 7月20日, 1頭目撃  |
| 10 アサギマダラ    | 鉢伏山, 9月20日, 2♂1頭目撃                                       |
| 11 エゾミドリシジミ  | 宝立山, 10月18日, 5卵採集  |
| 12 トラフシジミ    | 宝立山, 7月21日, 1頭目撃   |
| 13 ベニシジミ     | 三井坂田, 7月20日, 10頭目撃: 高洲山, 9月20日, 2頭目撃                     |

- 14 ルリシジミ 宝立山, 7月21日, 1頭目撃
- 15 ウラギンスジヒョウモン 上山, 6月29日, 2♂目撃: 鉢伏山, 9月20日, 2♀目撃:  
高洲山, 9月20日, 3♀目撃
- 16 ウラギンヒョウモン 上山, 6月29日, 1♂目撃: 宝立山, 7月21日, 1♀目撃:  
高洲山, 9月20日, 1♀目撃
- 17 オオウラギンスジヒョウモン 宝立山, 7月21日, 2♂目撃: 高洲山, 9月20日, 3♀目撃
- 18 クモガタヒョウモン 宝立山, 7月21日, 1♂目撃: 高洲山, 9月20日, 1♂目撃:  
鉢伏山, 9月20日, 1♀目撃
- 19 ミドリヒョウモン 三井坂田, 7月20日, 1♂目撃: 宝立山, 7月21日, 3♂1♀目撃:  
高洲山, 9月20日, 2♂目撃: 鉢伏山, 9月20日, 1♀目撃
- 20 メスグロヒョウモン 上山, 6月29日, 1♀目撃: 宝立山, 7月21日, 2♂目撃:  
高洲山, 9月20日, 1♀目撃: 鉢伏山, 9月20日, 3♀目撃
- 21 コミスジ 鉢伏山, 9月20日, 1頭目撃
- 22 ヒオドシチョウ 鉢伏山, 9月20日, 1頭目撃: 高洲山, 9月20日, 1頭目撃
- 23 アカタテハ 上山, 6月29日, 1頭目撃: 三井坂田, 7月20日, 1頭目撃:  
宝立山, 7月21日, 3頭目撃: 高洲山, 9月20日, 2頭目撃:  
鉢伏山, 9月20日, 3頭目撃
- 24 ヒメアカタテハ 宝立山, 8月30日, 2頭目撃: 高洲山, 9月20日, 1頭目撃:  
鉢伏山, 9月20日, 1頭目撃
- 25 ルリタテハ 高洲山, 9月20日, 1頭目撃
- 26 オオヒカゲ 三井坂田, 7月20日, 2頭目撃
- 27 クロヒカゲ 宝立山, 8月30日, 1頭目撃
- 28 ジャノメチョウ 三井坂田, 7月20日, 2♂目撃
- 29 ヒメウラナミジャノメ 宝立山, 8月30日, 1頭目撃

輪島市ではこの他に、セセリチョウ科のミヤマセセリ、アオバセセリ、キマダラセセリ、コチャバネセセリ、オオチャバネセセリ、チャバネセセリ、アゲハチョウ科のウスバシロチョウ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、オナガアゲハ、クロアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、ジャコウアゲハ、シロチョウ科のスジグロシロチョウ、エゾスジグロシロチョウ、スジボソヤマキチョウ、ツマキチョウ、シジミチョウ科のミズイロオナガシジミ、アカシジミ、オオミドリシジミ、ウラナミシジミ、ゴイシシジミ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ウラギンシジミ、テングチョウ科のテングチョウ、タテハチョウ科のツマグロヒョウモン、イチモンジチョウ、キタテハ、サカハチチョウ、スミナガシ、コムラサキ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ、ジャノメチョウ科のヒカゲチョウ、ヤマキマダラヒカゲの37種が知られている。

## 輪島市鉢伏山のカミキリムシ

井村正行

能登は、カミキリムシに関して言えば種類数は決して多くなく、むしろ少ないと言った方が当たっているかもしれない。しかし注目すべき種は、何種か記録されている。たとえばカエデノヒゲナガコバネカミキリは他では記録が無く、フトククスイモドキカミキリやクリチビカミキリが確実に採集できる地も他に無い。

同好の江崎功二郎氏の案内で、鉢伏山に初めて訪れたのは1995年の6月だった。氏が同地で採集したフトククスイモドキカミキリが目的で、高田兼太氏も同行する事となり、3人での採集となった。結果は高田氏の一人勝ちなので、詳しくは書かない事としておく。余談はさておき、この後同地へは6月に何度か訪れたので、そのまとめを書き留めておきたい。

この山は二次林が主体で、原生林と呼べる所は山頂付近にブナ、ミズナラ、クリなど、極わずかに残るだけで、二次林もスギ、ヒノキなどの植林化が進んでいる。しかし、二次林にはクリが多く見られ、それらをホストとしていると思われる中に、注目される種が見られた。

1. キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* Bates

1995年6月11日 2頭 タニウツギの花で得られ、当日以外にも記録している。個体数はやや少なかった。

2. ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta* (Mulsant)

1995年6月11日 3頭 タニウツギの花で得られ、当日以外にも記録している。個体数はやや少なかった。

3. ホクリクヒメハナカミキリ *Pidonia jasha* S. et A. Saito

1996年6月16日 10頭 タニウツギの花で得られる。訪れる度に見ることができ、個体数も多い。

4. チャイロヒメハナカミキリ *Pidonia aegrota* (Bates)

1995年6月11日 3頭 タニウツギの花で得られる。訪れる度に見ることができ、個体数も多い。

5. ミワヒメハナカミキリ *Pidonia miwai* (Matsushita)

1996年6月16日 5頭 タニウツギの花で得られる。訪れる度に見ることができ、個体数も多い。

6. セスジヒメハナカミキリ *Pidonia amentata* (Bates)

1995年6月11日 3頭 タニウツギの花で得られる。この日以外は見られず、発生ピークはもう少し早いのもかもしれない。

7. ツヤケシハナカミキリ *Anastrangalia scotodes* (Bates)  
1997年6月7日 1頭 タニウツギの花で得られる。この日以外にも観察し、合計2頭を記録している。
8. トビイロカミキリ *Allotraeus sphaerioninus* Bates  
1995年6月18日 3頭 サワフタギの花で得られ、この日以外は見られなかった。
9. コジマヒゲナガコバネカミキリ *Glaphyra kojimai* Matsushita  
1995年6月18日 2頭 サワフタギの花で得られる。この日以外にも観察し、合計3頭を記録している。
10. シラケトラカミキリ *Clytus melaenus* Bates  
1995年6月18日 1頭 サワフタギの花で得られ、この日以外は見られなかった。
11. トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* Bates  
1995年6月18日 1頭 サワフタギの花で得られ、この日以外は見られなかった。
12. キクスイモドキカミキリ *Asaperda rufipes* Bates  
1995年6月11日 3頭 クリ等のビーティングで得られる。この日以外にも観察し、合計5頭を記録している。
13. フトキクスイモドキカミキリ *Asaperda silvicultrix* Toyoshima et Iwata  
1997年6月7日 1頭 クリの生葉のビーティングで得られる。本種の採集が目的で訪れているが1日粘っても0~2頭位と少ない。この日以外にも見られ、県内で唯一本種を狙って採集できる産地。
14. ヒシカミキリ *Microlera ptinoides* Bates  
1997年6月7日 2頭 枯れ枝のビーティングで得られ、訪れる度に見られた。個体数も多く、県内で数少ない本種の産地。
15. クリチビカミキリ *Sybra kuri* Ohbayashi et Hayashi  
1997年6月11日 2頭 クリ枯枝のビーティングで得られ、訪れる度に見られた。個体数も少なくなく、県内で唯一確実に採集できる産地。
16. アトジロサビカミキリ *Pterolophia zonata* (Bates)  
1997年6月7日 1頭 クリ枯枝のビーティングで得られ、この日以外は見られなかった。
17. クリサビカミキリ *Pterolophia castaneivora* Ohbayashi et Hayashi  
1997年6月7日 2頭 クリ枯枝のビーティングで得られ、訪れる度に見られた。個体数は多い。
18. エゾサビカミキリ *Pterolophia tsurugiana* (Matsushita)  
1997年6月7日 1頭 枯枝のビーティングで得られる。この日以外にも観察し、合計2頭を記録している。



19. ヒメヒゲナガカミキリ *Monochamus subfasciatus* (Bates)  
1997年6月7日 2頭 枯枝のビーティングで得られる。この日以外にも観察し、合計8頭を記録している。
20. ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata* Thomson  
1997年6月16日 2頭 枯枝のビーティングで得られ、この日以外は見られなかった。
21. フタオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis bifasciatus* (Kraatz)  
1997年6月7日 2頭 クリ枯枝のビーティングで得られ、訪れる度に見られた。個体数は多い。
22. シロチビコブカミキリ *Miccolamia tuberculata* Pic  
1995年6月11日 10頭 サワフタギのビーティングで得られ、この日以外にも記録している。又、少ないながらクリからも得られた。個体数は多い。
23. ニセシラホシカミキリ *Pareutetrapha simulans* (Bates)  
1997年6月29日 4頭 サワフタギのビーティングで得られ、この日以外には記録できなかったが、個体数は多かった。
24. シラホシカミキリ *Glenea relictata* Pascoe  
1997年6月29日 4頭 スウィーピングで得られ、この日以外にも多数観察した。
25. セミスジニセリソゴカミキリ *Eumecocera trivittata* (Breuning)  
1995年6月18日 1頭 ビーティングで得られた。能登では初記録と思われる。

一応25種が記録できたが、5、7、8月にも機会があれば採集に訪れてみたい。今回の記録は、筆者の採集品を記したが、江崎氏や高田氏も同様に採集している。

最後に、同地を案内してもらったなど大変お世話になった江崎功二郎氏に、この場を借りて感謝申し上げる。

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2丁目116-70》

## 平地に産する能登のエゾゼミ

松井 正人

エゾゼミは山地のセミだと思っていた。事実、金沢付近ではキゴ山や医王山等の標高400m以上へ行かないとその声は聞こえてこない。輪島の高洲山や鹿島の石動山、押水の宝達山と能登を代表する山々でも声を聞いていたので、山地のセミと思い込んでいた。1995年には能登の平地で鳴き声を耳にし驚いたものの、時期が遅かったので山地から飛来したものかも知れないと考えていた(松井、1996)。

1997年は、エゾゼミの発生初期に能登で調査の機会が得られ、広く平地でエゾゼミの鳴き声を聞いた。エゾゼミは、山地から平地にかけて広く分布しているようで、7月にはヒグラシやニイニイゼミとともに、8月にはチッチゼミやツクツクホウシとともに鳴いていた。

### 1997年エゾゼミの記録（カッコ内は標高を示す）

穴水町越の原（150m）	7月20日	声	輪島市三井坂田（200m）	7月20日	2♂2♀
穴水町七海（100m）	7月20日	声	輪島市三井洲衛（200m）	7月20日	声
穴水町大角間（150m）	7月21日	声	輪島市宝立山（300m）	7月21日	2♂目撃
柳田村神和住（150m）	7月21日	声	珠洲市泥木（150m）	7月21日	声
富来町鶴野屋（100m）	7月21日	声	珠洲市延武（50m）	7月21日	声
能都町真脇（50m）	8月31日	声	珠洲市南山（300m）	7月21日	声
内浦町明野（100m）	8月31日	声	珠洲市上戸（50m）	8月31日	声

### 《 参考文献 》

松井正人（1996）平地で聞いたチッチゼミとエゾゼミ類の声. 翔（118）:1.

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

## 能登半島採集日記

西原昇吾

筆者は、1997年7月20日に井村正行、松井正人の両氏とともに能登半島を廻った。前年の夏に、山口英夫氏の発見したシマゲンゴロウを、何とか探そうという企画である。井村氏が仕事の都合で遅れそうなので、僕と松井氏とで正午に穴水で待ち合わせした。それぞれ、それ迄に好きなところを廻ってからの集合ということで、僕は、中島町、門前町で湿地探しをしてから行くことにした。

中島町河内では、水田脇の水たまりを見つけたが、これという収穫はなかった。次いで門前町東大町にヒルムシロ、ミクリの生える良好な環境の湿地があったが、シャープゲンゴロウモドキは発見できなかった。

### 門前町東大町の湿地で確認した昆虫

オオコオイムシ、ヒメゲンゴロウ、クロズマメゲンゴロウ、キイトンボ、  
モノサシトンボ、オオシオカラトンボ、ヘイケボタル

正午に穴水町此木の「八幡のすしべん」で待ち合わせし、松井氏と落ち合う。店内で昼

食を選んでいると肩をたたかれた。なんと井村氏ではないか。予想外に早い登場で勇躍する。3人でオオルリハムシを捕りに穴水町七海に向かうが、ここでは残念ながら1匹も確認できず。仕方なく内浦町に行き、確実にオオルリハムシを狙うことにした。内浦町の池の周りの湿地は水量が少なく、乾燥化が進行していた。しかし、シロネのまわりには数え切れないほどのオオルリハムシがいた。ヒメミクリ、サンカクイ、カンガレイ、ヒルムシロのある池には、かつてクロゲンゴロウがいたようであるが、今回は確認できず。また、かつてはいたであろうシャープゲンゴロウモドキも、確認できなかった。

#### 内浦町坪根の湿地で確認した昆虫

マメゲンゴロウ、クロズマメゲンゴロウ、ヒメアメンボ、マツモムシ、オオコオイムシ、キイトンボ、モノサシトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ネクイハムシ類

次は、輪島市三井坂田でサワダマメゲンゴロウを探すが、見つけられず。ヤリタナゴのいるきれいな川ではあったが・・・ここにもオオルリハムシはいた。どうやら適当な環境が残っている奥能登ではそれ程珍しくないようである。

#### 輪島市三井坂田の湿地で確認した昆虫

オオルリハムシ

次はいよいよ本日のメインイベント、輪島市三井小泉のシマゲンゴロウの捕れたスイレン、コナギの生える水たまりに行く。しかしながら2匹目のドジョウというわけにはいかなかった。

#### 輪島市三井小泉の湿地で確認した昆虫

ヒメゲンゴロウ、クロズマメゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、ガムシ、キヒロヒラタガムシ、コミズムシ類、ハグロトンボ

暗くなる頃ライトトラップの設置場所をしばらく探し、再び自由行動。僕は門前町へ。しかし、またも、圃場整備の進んだところが多くシャープは発見できず。

夜はシマゲンゴロウも狙ったライトトラップを、谷の奥の水田脇2ヶ所で行う。7:30～8:30頃には多くの虫が集まっていたが、満月が顔を出し始めると飛来数は減少。10時過ぎに幕をたたみ、「すしべん」で解散。僕はその後、富来町などの灯火まわりをしながら帰るが、特筆すべき成果はなかった。

#### 輪島市三井市の坂のライトトラップで確認した昆虫

コシマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、キベリクロヒメゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、ガムシ

《にしはら しょうご 〒920 金沢市大手町7-11レイクランド大手町108号》

た。中西氏の念がこもったツルハシは、井村氏が打ち下ろすとバキッと折れ、松井氏愛用のツルハシはグニヤリと鉛の様に曲がり、西原君の持ってきた新品の斧はポッキリと折れてしまったのだった。

### 名古屋の援軍は雪に泣く

ツルハシとバチクワを持って現れた名古屋からの援軍があり、白山のツヤハダ征伐第二段は難なくいく筈だった。しかし、十一月に入ったばかりなのに雪がいつぱい。これでは倒木も分ならず、夏装備の足下もビチヨビチヨになり、雪の冷たさがひしひしと忍び寄るのだった。

### 会津のマークオサムシ

最近、猪苗代湖周辺でマークが採れだした。現地情報を鋭くキャッチした中西氏、米沢で横山ナビシテムを積み込み、現地入りしたものの、見渡す限りの水田。畦を崩す訳にもいかず、ツルハシ担いでウロウロするばかり。

### 西原君、マヤサンを掘り出す

もつばらゲンゴシか相手にしない西原君、珍しく崖崩し。倉ヶ岳の大池小池でおいしいゲンゴに当たらず、話に聞いていたオサ堀に挑戦。マヤサンがでてきた。

### 初冬の白山で燈火採集

元氣バリバリの富沢氏、一週間前は雪で真っ白だった白山市ノ瀬で灯火採集。予定は別当出合だったが、夜間の凍結が恐く、市ノ瀬での灯火と化した。瞬く星空は神秘的だった。寒さがこたえて九時前には幕をたたんでしまった。飛来数は、二十頭程。

### 金沢のネプトクワガタ

いつの間にか採れていた小松のネプトで騒いだのが一年前、今度はいつの間にか採れていた金沢のネプト。トンボ屋さんが採集していたらしく、入場氏が確認したところ二雄一雌。すかさず一雄をもらい受ける入場氏だった。

### いつの間にか三上秀彦氏

蝶研出版で活躍していた三上秀彦氏、いつの間にか石川県在住人になっていた。毎日五十頭の展翅をこなすと言うバリバリの蝶屋で、早くもゼフィルスの調査にとりかかり、宝達山でウラキンを確認した。連絡先は、  
内灘町大根布六の四十七の一  
TEL (二八六) 六六〇九

### いつの間にかウラキンシジミ

三上氏によって、宝達山からウラキンが発見され、能登での初記録かと思われたが、いつの間にか能登でもウラキンが採れていた。話は三年程さかのぼり、輪島の近くで採れているらしい。

### ある日しみじみ思うこと

玄関にでかい靴があった。誰のかと思えば息子の代物。それにしてもでかい、いつの間にかこんな物を履く様になったのか。そういえば、中西氏も孫を抱いてニヤニヤしてい

たし、帽子で隠してはいたが野中氏の頭は白かった。みんな年をとっているんだなあ。

### マツの朽木はオサムシばかり

さっそく金沢のネプトを狙った松井氏、凶鑑でイメー  
ジトレーニングを積み、土日と二日がかりで挑んだが、敵は全く姿を見せなかった。

### 例会の記録

十月二日(木)城南管工で八時から開催。

最近、宝達山のでかいオオセンチが脚光を浴びているようで、今回は能登のオオセンチについて話が弾んだ。宝達の牧場にもいるが、標高を上げれば多くなる、碓石峰付近にもいるらしい、宝立山のトラップにはかからなかった等々。

その他の話題では、乗鞍のオオトラ、大笠のメススジ、会津のマーク、人喰谷のウラナミアカ、小松のスジカバ等。

参加は、久慈、井村、松井、中西、吉村、西原、指田の七人。

【表紙デザイン：小幡英典】

# 会員の動き・しゃばの動き

八月のラオスに三週間  
指田氏、雨期のラオスをス  
ピードボートで移動しなが  
ら、稀種にネットを振った。  
雨期の割には天候に恵まれ、  
とびつきり珍しい種を何種か  
ゲットした模様。

ヨナクニマルバナは採れず  
クワガタとゲンゴを狙って  
与那国へ渡った富沢氏、ハブ  
が怖くて夜のジャングルには  
入れなかつた。それでも、灯  
火に飛来した七〇ミリオー  
バーのサキシマヒラタを物に  
する等、運の良さを見せつけ  
た。ゲンゴはコガタノばかり。  
落ち葉をめくってカタツムリ  
カタツムリにのめり込んだ  
澤田氏、現在十五種を採集し  
単独首位。最近は落ち葉の下  
に潜む数ミリのカタツムリを

探しているが、なかなか見つ  
からない。熾烈な首位争いが  
無いと、ちよつと探して見つ  
からないとめげちゃうらし  
く、競走相手を募集している。

水棲昆虫屋の最近の動向は  
「水棲」とか「溜池」とか  
の言葉に鋭く反応する西原  
君、水棲生物屋が集まる溜池  
研究会の存在を知るや、奈良  
の檀原で開かれる会合に飛ん  
で行った。

ゲンゴロウに燃えている  
ゲンゴにはまったらしい横  
山氏、ゲンゴブームが過ぎ  
去った今、一人密かに燃えて  
いる。金沢では、出張ついで  
の早朝シャープ詣でを敢行し  
たり、南西諸島のゲンゴにラ  
ブコールしたりして、もうど  
うにも止まらない。

気が付けば一人の虫屋

昆虫館準備室に配属された  
事務屋と技術屋、それぞれ一  
人。何の技術かは知らないが  
技術が富沢氏で、事務は平松  
氏。富沢氏は精力的に昆虫採  
集し、時には事務の平松氏を  
助手に引つ張り出していた。  
本来嫌いじゃ無かつた平松  
氏、そのうち一人で出かける  
様になり、トラップ液を担い  
で白山に十一回も登っている。  
最近はおオセンチにはまり、  
押水の放牧場に通っている。

白山のツヤハダクワガタ

井村、松井、西原の三氏は、  
ポカポカ陽気に誘われて白山  
へクワガタの調査。ほんとは  
メススジ調査の予定だった  
日和つた模様。ところが、こ  
れが良かったらしく、県内  
はまだ一頭しか採れていない  
ツヤハダクワガタが採れた。

ツヤハダは手強かつた

ツヤハダは採れたものの持  
参の武器は破壊されてしまつ

## 翔

NO. 129

1997年12月1日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

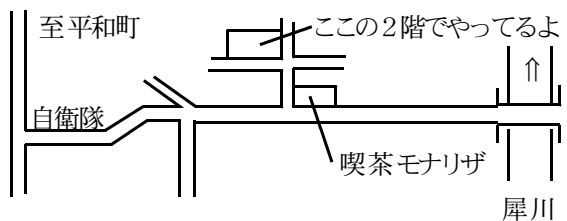
☎920-01 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から

TEL 参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (129号)

松井正人：能登地方のゼフィルス	1
富沢 章：輪島市三井の蛾類	3
松井正人：1997年に輪島市で見かけた蝶	4
井村正行：輪島市鉢伏山のカミキリムシ	6
松井正人：平地に産する能登のエゾゼミ	8
西原昇吾：能登半島採集日記	9
編集部：会員の動き・しゃばの動き	12